

## 「東海農政局 野菜の消費に関するシンポジウム」に登壇 ～専門家として野菜の消費拡大への取組を提案～

カゴメ株式会社の「野菜と生活 管理栄養士ラボ®」(\*1)の管理栄養士が、「東海農政局 野菜の消費に関するシンポジウム」に野菜のエキスパートとして登壇いたしました。

本シンポジウムでは、野菜の消費拡大というテーマのもと、食べ方提案や、店頭での野菜摂取増へ繋がる取組について議論が行われました。当社からは野菜摂取目標量の認知や自分の野菜摂取量を知るといった課題に対して、推定野菜摂取量を測定できる「ベジチェック®」(\*2)を紹介、目の前の食事にどれだけ野菜が入っているかを知るといった課題に対して、野菜摂取量の目安となる新単位「ベジハンド®」(\*3)を提案し、これまでの健康サービス事業での取組を活かして、野菜摂取や地産地消拡大に貢献する提言を行いました。

カゴメ健康事業部では、健康サービスの提供の他、東京栄養サミット 2021 でのコミットメント、シンポジウムへの参加や意見交換を通じて、国民の野菜摂取量向上や食生活改善に貢献する活動の支援を実施いたします。また、「野菜と生活 管理栄養士ラボ®」による講師活動や健康サービスを提供すると共に、野菜摂取増加を促すセミナーや料理教室、レシピ提供、行動変容を促す特定保健指導を通じて日本人の野菜摂取量向上に向けて取り組んでまいります。

### ■内容

【日時】 令和4年3月28日(月) 15時～18時

【方法】 オンライン

【対象者】 約130名

【内容】

<第一部:講演>

カゴメ内容「おいしく、楽しく。カゴメが提案！野菜摂取増加の取り組み」

野菜摂取不足に対する解決策、不足しがちな野菜摂取を増やすための取り組み「ベジチェック®」、東京栄養サミット 2021 でのコミットメントなど、野菜による栄養摂取に関する最新の情報を紹介。

<第二部:パネルディスカッション>

朝食で野菜を摂取することの重要性、収穫時期による野菜の栄養価の違い、簡単に実践できる野菜摂取のヒント、アンケートに寄せられた「もっと野菜を摂るためのアイデア」についても意見を交わした。



■東海農政局ホームページ内 シンポジウム開催報告リンク

[https://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/iken/seminar/220328\\_2.html](https://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/iken/seminar/220328_2.html)

(\*1) 食と健康のプロである当社の管理栄養士によるプロジェクトチーム「野菜と生活 管理栄養士ラボ®」には、管理栄養士資格保持者 71 名 (2022 年 3 月時点)が在籍。野菜摂取の重要性、メリット、メソッドを伝えるセミナー、特定保健指導、栄養指導、メニューレシピ、料理教室、食育コンサルティング等を通じて、食生活の改善や野菜摂取をサポートします。



(\*2) ベジチェックは、野菜摂取量を推定できる機器です。センサーに手のひらを当て、数十秒で測定が完了します。利用者がその場で結果を見ることができる簡便さが特徴です。



(\*3) 食事に含まれる野菜を、片手で何杯分かで計る方法です。片手 1 杯分の野菜は約 60g としています。



【サービスに関するお問い合わせ先】

カゴメ株式会社 健康事業部

E-mail: [kagome.happy-wellness@kagome.co.jp](mailto:kagome.happy-wellness@kagome.co.jp)